



1学期 終業式

70日間の登校日数の1学期でしたが、今日で終了です。明日から夏休みです。そんな1学期の締めくくりとなる「終業式」では、7月の学校朝会でお話した「ウェルビーイングの魔法」の続きを使って、1学期を振り返ってみました。魔法の言葉「ありありなんや」の「ありのままに」と「やってみよう」についてです！

「ありありなんや」の魔法は、幸せを創り出すための魔法の言葉でしたね。まずは、「ありのままにの心」について話をします。

自分の頭や心で自分のやりたいことを決めていますか？ 人のいうことばかりを気にして、自分の頭や心で決めることをサボっていませんか？ または、自分と人を比較してばかりいたり、自分と違う人をのけ者にしたりしていませんか？

ありのままの自分を表現し、周りの人のありのままの姿を受け止める。そんな関係を作ることができると自分も周りも「幸せ(Well-being)」な状態になります。

最後の「やってみようの心」は、自分の頑張ってきたことをバネに、次なる挑戦をする心でどんどん成長します。「どうせ、自分なんて・・・」「面倒だ」と、自分自身を大切にしないと成長しません。

ここで、1学期の中で頑張ったことをどんな小さなことでも良いので、3つ思い出してみましょう。きっと、たくさん頑張ったことがあったと思います。泣かずに一人で登校できるようになった。友達のいいところをたくさん見つけることができた。家でもリコーダーの練習を頑張ったなどなど…………。

校長先生も一人一人の「やってみようの心」を見つけることができました。また、集団の「やってみようの心」も見つけることができました。

1年生は、みんなで一生懸命に掃除を頑張るようになりました。2年生は、1年生のお手本になるために色々なことに頑張っていました。3、4年生は、生き物を大切にする姿、学習に真剣に取り組む姿が見られ、「やってみようの心」の成長を感じました。5、6年生は、委員会活動でも自分の考えを伝え合いながら、みんなにとってより良い学校生活になる

ように「やってみようの心」を持って、色々なことに取り組んでくれました。素晴らしい力だと思います。

そして、「やってみようの心」は夏休み中にもっと大きく育てるチャンスです！

何かを毎日続けることや、日頃できなかったことに挑戦することや、何かに夢中に取り組むことで、自分の自信になって、これからの人生の幸せ(well-being)につながります。そのチャンスの時間です。目標を持って、「やってみようの心」を大きく育てて、2学期にまた元気に会いましょう！



1学期、保護者の皆様にも色々な面でご協力をいただき、本当にありがとうございました！

子供たちにとって、楽しく、健康で、充実した夏休みとなるように、ご家庭でも引き続きご協力、見守りをよろしくお願いいたします。